

岳洋学舎だより

令和2年10月号

—自信をもち自分の力を発揮する小笠の子ども— (岳洋中、北小、東小、南小)

岳洋学舎あいさつ運動『みんなであいさつ すてきなあいさつ』

岳洋学舎での地域・学校・家庭が一体となって取り組むあいさつ運動がスタートしました。10月8日は、あいにくの雨の中でしたが、民生委員や運営協議会委員の皆様と学校職員が参加して児童・生徒にあいさつを呼びかけました。

挨拶（あいさつ）の「挨」には相手の心を開く、「拶」には、相手の心に近づくという意味があるそうです。このことから、あいさつは自分の心を開くことで相手の心を開かせ、相手の心に近づいていくという積極的な行為だと考えます。子ども同士はもとより、地域の方が出会った人に率先して声をかけ、岳洋学舎の皆さんのコミュニケーションが活性化されればと思います。

岳洋学舎の小中学校が同日に取り組むあいさつ運動は、毎月の第2木曜日です。



地域の方に御協力いただきました

稲刈り、脱穀をしました!!

小笠南小5年生は、学区在住の下嶋正吉様とJA遠州夢咲の皆様の御協力をいただき、稲刈りと脱穀の体験をしました。子どもたちは、安全に気を付けながら慎重に鎌で稲を刈り取ったり、稲刈り機を上手に操作して刈ったりしました。また、はずがけしておいた稲を粃にする脱穀も体験することができました。たくさんの新米を収穫することができ、子どもたちはお喜びでした。



地域の方から学ぶ

キャベツ、ブロッコリーの種まき!!

小笠北小2年生は野菜への関心を高めることを目的に種まきから収穫までの野菜づくりをしています。この学習を進めるに当たり、毎年、株式会社『つきの丘』の皆様に御協力いただいています。

9月3日にキャベツとブロッコリーの種まきをしました。初めに、同社の深川知久さんからキャベツとブロッコリーの料理、野菜を収穫するまでの作業についての話を聞きました。子どもたちは深川さんの話を真剣に聞いていました。その後、深川さんたちの指導を受けながら、種まきに挑戦しました。班ごとに協力しながら苗を育てる容器に土を敷いて、丁寧に種をまきました。



自ら考えたプランに経営者からアドバイスを受けました!!

小笠南小6年生は総合的な学習の時間で地域社会に貢献する事業について学んでいます。9月18日には、自ら考えた事業のアイデアについて経営者からアドバイスを受けました。自ら考えた社会福祉や環境保護などの事業計画について、菊川市内で会社を営むグローバルデザインスクールの村田和美さん、ブルーベリーオガサの西下真理子さん、あい設計室の鈴木あいかさんからアドバイスをいただきました。経営者からは「どのように役立つ仕事なのかをできるだけ具体的に示す方がいい。多くの人に共感が得られるような工夫が必要です。」などとアドバイスをいただきました。

子どもたちは経営者からの話を真剣な表情で聞いていました。子どもたちの中には、「アドバイスをいただいたことを参考に事業を見直したい。菊川の特徴を生かした事業にしていきたい。」と話す子もいました。経営者からは、「子どもたちの社会をよくしたいという強い思いが伝わり、是非起業をしてほしい。」と話しました。

